

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2011029	提出日	令和 4年 1月 19日
学生氏名	伊藤 英里		
論文題目	介護記録を用いた入院リスク推定のための病名抽出		
要旨			
<p>介護記録は介護の実践を証明し、介護の質を向上させ、サービスを受ける人やその家族とのコミュニケーションを円滑にするために、介護従事者が作成する記録である。日本は人口の29.1%が65歳以上という世界で類を見ない高齢化社会であり、介護の需要は今後も増加していくと考えられる。しかし、高齢者介護においては、スタッフ不足や社会保障費の負担など多くの問題がある。特に、入院のリスクは深刻な問題の一つであり、早期にそれらのリスクを感知することが重要である。</p> <p>したがって、本研究では介護記録を用いたNER(Named Entity Recognition)に取り組み、介護記録特有の表現で描写された入院リスクの病名を検出することを試みた。まず、51種類の病名がタグ付けされた1,783件の記録からなる介護記録コーパスを作成し、続いて入院リスク病名に対応する介護記録中の表現を検出する2種類の介護モデル(a)介護モデルと(b)症例報告+介護モデルを構築し、その性能の比較を行った。実験の結果、(a)介護モデルは、(b)症例報告+介護モデルよりも優れた性能を示した。これら2つのモデルの誤りを分析した結果、症例報告書と介護記録書では性質が異なり、病名によってNERタスクの難易度が異なることが示唆された。</p>			